

日中友好新聞

府連通信

2011年4月号
日本中国友好協会大阪府連合会
〒530-0013
大阪市北区
茶屋町10-6
阪急北ビル4階
TEL06-6372-8131
050-3413-6491
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail: jcf@j
t8.so-net.ne.jp
ホームページ
http://www005.u
pp.so-net.ne.jp
/jcfasaka/

中国電影世界・鑑賞会
四月二三日(土)五時四十分から
「小さな赤い花」無料コーヒー
付
大阪府連合会の文化行事として、毎月中国映画を鑑賞してい

東日本大地震への救援を急ごう

本部常任委員会・大阪で開催

四月二三日、大阪・此花会館で第三回本部常任理事会が開かれ、東日本大震災で困難な状況の中、全国から三〇名が出席しました。大きな被害を受けた東北地方からも、福島県の長尾会長、宮城県連の渡辺事務局長が参加、現地の状況報告をされました。



松尾豊さん撮影・三陸沿岸へ救援

万人の組織をめざして、創意と工夫で仲間を増やそうと熱心に討論されました。六月の全国大会までに全国の組織が会員を増やし、六年連続増勢で大会を迎える事を確認しました。(府連事務局長・高瀬)

岩手県大船渡市で活動している中国救援隊の様子を、中国語版(チャイナネット)が伝えています。『気温が低く、雪も降り、水地からの後方支援があるが、中国救援隊は持参した生活物資も残りわずかとなり、中国大使館がカツプスードルやマントウ(蒸しパン)、たまご、飲用水などを供給している。救援隊は「つらいが、こういうときだから、がまんが必要だ」と語り、心身ともに健康だという。救援隊は搜索のほか、テント張りや物資運搬、交通整備を行っており、被災者は心から感謝の意を表している。貴重な食料を持つてくるスーパーのオーナーや、コンビニ代金を受け取らない店長もあり、救援隊には「二ハオ!」「シェシェ」と声をかけてくる。「困難は多いが、われわれは救援活動を続ける、あきらめないで被災者を見捨てない」と救援隊員の秦冲氏は語った』

風雪の中、大船渡市で救援

中国からも大震災へ救援隊

レンコン入りの水餃子が好評

3月の西支部行事

三月十三日(日)尼崎市で水餃子と、白菜・ニラに代わってレンコンを入れた水餃子の二種類を作りました。エプロン姿でしっか作りました。食べ終わった皆さんの感想は、皮の味がよい、レンコンの歯ざわりがよい、形も昨年に比べてよかったですと好評でした。紹興酒など餃子を味わいました。



交通整備を行っており、被災者は心から感謝の意を表している。貴重な食料を持つてくるスーパーのオーナーや、コンビニ代金を受け取らない店長もあり、救援隊には「二ハオ!」「シェシェ」と声をかけてくる。「困難は多いが、われわれは救援活動を続ける、あきらめないで被災者を見捨てない」と救援隊員の秦冲氏は語った』

4月からの太極拳教室

大阪府連なんば教室 月曜日 なんば体育館他
大阪府連屋間教室 月曜日・日中文化センター
大阪西支部教室 木曜日 中津北スポーツ他
守口支部教室 火・水・金 守口市内体育館など
初心者の方歓迎・途中入会可能

連絡先：大阪府連06-6372-8131

中国語講座 開講中

中国人との日常会話ができることをめざしています
会員・学生割引あり、紹介キャンペーン図書券を贈呈
途中入学可(週一回・二時間・6ヶ月20回受講)
受講料・48,000円 入学金・18,000円
二科目受講は96,000円を72,000円に割引
*プライベートレッスンも随時受付中です。

大震災直後に岩手と福島へ支援

松尾副会長の現地レポート

私は、東日本大震災の復旧 十九日に沿岸部の山田町、支援で、自治労連の第一次派 大槌町に入りました。山田町遣隊として、三月十五、二十の道は、津波の被害で船やブは原発災害とその風評被害でイが打ち上げられ、周辺の家苦勞している、福島の中間の屋は一階部分が壊され、ガー支援と激励に行ってきました。ドレールはなぎ倒され、町中岩手では地震・津波被害から間もない時期だったので、現地も仲間の安否確認に全力を挙げていました。三陸沿岸部の十二市町村は北部の一部を除いて、壊滅的な被害で、とりわけ最南部にある陸前高田市は、市街地すべてが津波被害で、市庁舎をはじめ家屋が根こそぎ壊され、広大な地面だけとなりました。

確定申告時期で受付業務に当たっていた職員は、住民を避難させ、片付けをして避難しようとした矢先に逃げ遅れ、行方不明という痛ましい事態も多く聞かれました。

福島へは臨時便の高速バスで新宿から郡山市へ入り、翌日二本松市へ。国道四号線沿いに屋根瓦がズレ、ブルーシートで応急処置をした家屋が目立ちます。沿岸部は、岩手、宮城より原発



救援活動の松尾さんと津波被災地・三陸沿岸



福島県は臨時便の高速バスで新宿から郡山市へ入り、翌日二本松市へ。国道四号線沿いに屋根瓦がズレ、ブルーシートで応急処置をした家屋が目立ちます。沿岸部は、岩手、宮城より原発

事故の影響で近づけず、遺体の回収や復旧支援が遅れています。

福島県の対策本部の事務局長としても救援復興の先頭に立っている仲間も合流し、自撮影した南相馬市や新地町の写真を模造紙に貼ったもので説明してくれました。岩手や宮城の三陸沿岸部と同様、津波被害の惨状が記録されていました。

二本松市は市域を接する浪江町住民も受け入れ、市内二〇の施設に三千人が避難しています。郡山市も二本松市同様家屋被害以外には住民の負傷、死亡等は報告されていません。

県主催の住民向け原発被害の説明会で、参加者が批判的な質問をすれば、動員されたと思われる原発推進参加者から嫌がらせのヤジが飛ばされ、この場に及んで東京電力や県当局の原発住民に対する圧力は信じられません。今回原発現場で初期処置を誤った原発事故は、人災としか言いようがありません。暮らしの安心・安全と補償問題、住民合意の復興策などが注目されますが、住民本位の行政、町作りの在り方が問われています。

(東京在住・松尾豊府連副会長)

ウイスラーとブラッコムで滑る

大地震で二日間足止め

カナダ・バンクーバーからバスで二時間、ウイスラースキー場のゴンドラは長く、1850Mを一気に昇りきりました。珍しく晴天で頂上への景色も抜群で、白と青のコントラストがまぶしく映りました。向かいのブラッコム山に連絡するゴンドラで十五分くらい、ウイスラーから谷渡りをしました。ブラッコムの頂上の景色も、岩の黒と雪の白、空の青さですばらしい景観でした。

綿雲の中のようなコースは。帰路は大変でした。帰国する三月十二日の早朝に、旅行社から日本で大地震があり、全ての空港が閉鎖になり帰れないという連絡です。翌日も五時間のキャンセル待ち、しかし私たち一〇人全員搭乗できませんでした。結局二日間、空港で足止めされました。



カナダ・ブラッコムスキー場頂上



大震災で被害を受けられた人たちに、お見舞い申し上げます。

(西支部役員・松岡 荷)

東日本大震災

救援募金のお願

日中友好協会・被災者救援募金への、皆さんのご支援を、心からお願い申し上げます。

連絡先は大阪府連06-6372-8131

第34回全大阪きりえ美術展

五月二十日(金)から二五日(水)
午前一〇時から午後六時まで
エル・おおさか九階ギャラリー
(府立労働センター)
主催・全大阪きりえ連絡会